

フェロモントラップによる フジコナカイガラムシ防除適期の予測法

病害虫部

1 背景、目的

カキの重要害虫であるフジコナカイガラムシの防除適期は第1世代の幼虫ふ化時期ですが、ふ化幼虫は約1mmと微小であるため圃場でみつけるのは困難です。そこで、フジコナカイガラムシの性フェロモントラップを用いて雄成虫の発生ピーク日を調査し、その後の気温平均値を基に幼虫ふ化最盛日を予測する防除適期予測法を開発しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) フジコナカイガラムシの性フェロモン剤を設置した粘着トラップ（以下、フェロモントラップ）により、多数の雄成虫を誘殺することができます（図1）。
- 2) このフェロモントラップで把握した越冬世代雄成虫誘殺ピーク日を基点として、フジコナカイガラムシの発育速度（澤村・奈良井、2008）と日平均気温（アメダス平年値）を用いて第1世代幼虫のふ化ピーク日が予測できます（図2）。
- 3) 有効積算温度法で予測した第1世代幼虫のふ化ピーク日は、実際の発生ピーク日と概ね一致しました（表1）。
- 4) 有効積算温度法による発生ピークの計算法は『福岡県病害虫・雑草防除の手引き（<http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/tebiki/pe-ji/kajyu/kajyu-mokuji.html>）』内の「フジコナカイガラムシの発生生態と防除対策」に掲載しています。

3 主要なデータなど



図1 フェロモントラップでの雄成虫誘殺状況

- 注) 1. 左はフェロモントラップ
2. 中は誘殺された雄成虫（青マルで表示：右は拡大図）

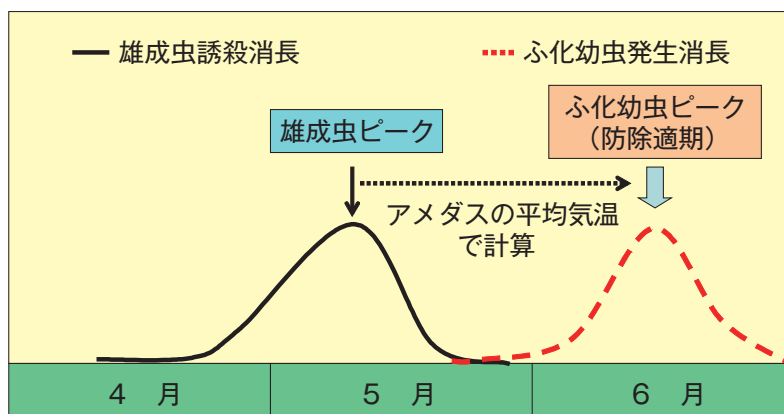


図2 フェロモントラップによるふ化幼虫ピークの予測法

注) ふ化幼虫ピークの計算法は「福岡県病害虫・雑草防除の手引き」に掲載。

表1 越冬世代雄成虫の誘殺ピークから算出した次世代幼虫ふ化時期（防除適期）の予測結果

	調査場所	誘殺ピーク	予測	実測
平成18年度	筑紫野市	5月12日	6月13日	6月4半旬
	朝倉市	5月17日	6月19日	小発生のため不明
平成19年度	筑紫野市	5月11日	6月11日	6月3半旬
	朝倉市	5月16日	6月15日	6月3半旬